

「わらしへ長者」の経済学

名前

年

組

番

(1) 観音さまに富を授かるようキガ|ンした。(一二三六・二)

祈願

(2) のどがカ|ワいて水気のあるものを探していた(一二三六・七)

渴

(3) 馬をカイ|ホウしたら元気になった。(一二三七・一)

介抱

(4) 取引をフ|リ返ると、断ろうと思えば断れるものばかりだったから、(一二三八・14)

振

(5) 取引を媒介できる人物がカ|レしかなかったからである。(一二四〇・8)

彼

(6) これらの人たちの間にネ|ムる経済学的価値を引き出す(一二四〇・9)

眠

(7)馬が息を吹き返したのは確かに幸運であつたが、(一四一・4)

吹				
---	--	--	--	--

(8)死にそうであつたということがミノガせない要点である。(一四一・5)

見逃				
----	--	--	--	--

(9)何かトクシユな出来事が起こつたというわけではない。(一四一・13)

特殊				
----	--	--	--	--

(10)運送業や小売業がなぜ我々の経済の中で大切な役割をシめているのか(一四二・2)

占				
---	--	--	--	--

(11)「わらしべ長者」にある種のケンオカンがともなう原因は、(一四二・8)

嫌悪感				
-----	--	--	--	--

(12)特定の個人に話のショウテンが当たっているためではないか。(一四二・8)

焦点				
----	--	--	--	--

(13)末は東証一部上場のダイキギョウにまで成長する(一四二・13)

大企業				
-----	--	--	--	--